

シラバス参照

講義名	進化ゲノム生物学
講義開講時期	後期 2nd Half
基準単位数	1
代表曜日	代表時限
コース等	49 遺伝学コース
授業を担当する教員	後日連絡
成績評価区分 Grading Scale	A, B, C, Dの4段階評価 Four-grade evaluation
レベル Level	Level 3
力量 Competence	専門力 Academic expertise

担当教員

氏名

◎ 北野 潤

授業の概要	適応進化、中立進化、種分化、共生進化などの進化遺伝学と集団遺伝学の基礎的概念とこれまでの知見を概説したのちに、最新のゲノム技術で得ることの出来る新しい展望について議論を行う。
到達目標	進化遺伝学の基礎と最新ゲノム技術の応用例を学ぶ。 進化遺伝学とゲノム学を利用してどのような問いに答えられるかを理解する。
成績評価方法	単位を得るためには、最低3回の授業に出席し、レポートを提出する必要がある。レポートでは、どれか一つの授業内容について、あるいは全体を通して、何を学んだか、何を自分の研究に活かそうかをA4 1枚程度に要約する。レポートに基づいて、A, B, C, Dの4段階評価を行う。
授業計画	適応進化、中立進化、種分化、共生進化などの進化遺伝学と集団遺伝学の基礎的概念とこれまでの知見を概説したのちに、最新のゲノム技術で得ることの出来る新しい展望について議論を行う。 (後期) 進化ゲノム生物学 金曜日 13:30 - 15:10 2026年 11月6日：集団遺伝学入門と適応進化の集団ゲノム学（北野） 11月13日：分子進化のほぼ中立説（明石） 11月20日：種分化の集団ゲノム学（山崎） 11月27日：系統・比較ゲノム学（工楽） 12月18日：収斂進化のゲノム学（福島） 12月25日：メタゲノムと進化（森） 2027年 1月8日：共生進化（宮城島） 1月15日：生態進化フィードバック（山道）
実施場所	対面講義及びインターネットを利用した遠隔講義：国立遺伝学研究所図書館2Fあるいは3Fセミナー室（B301）
使用言語	英語
教科書・参考図書	特になし
他コース学生が履修する際の注意事項	特になし
講義に関する問い合わせ先	遺伝研大学院係：info-soken@nig.ac.jp